

あじけん通信

2025 DECEMBER
VOL.219

JR 小山駅東口のクリスマスイルミネーション。実習生達の目を楽しませてくれています

企画・編集 濵谷 健司・栗又 由利子

12月に入りました。2025年も残すところあと僅かとなりました。今年は地域に住む外国人への会話コース開講や、特定技能者や技能実習生に対する運転免許取得コースの新設等、新しい領域に積極的に取り組んだ1年でした。実習生への日本語指導でも2027年から始まる育成労制度を見据えた新しいカリキュラムの開発と導入を行いました。来年も外国人技能実習生への入国後講習を中心に、日本に住む外国人と私たち日本人、また日本に住む外国人同士の懸け橋となれるような日本語指導を目指していきたいと思います。1年間大変お世話になりました。来年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

あじけんスコープ Vol.146 ~小学校でのイベント参加~

地域の小学校のイベントに実習生が参加してきました。外国の遊びを紹介するということで、今回は、ベトナム実習生4名がベトナムの遊び「ダーカウ」を小学生に紹介しました。ダーカウはバドミントンの羽に似たものをサッカーのリフティングのようにして遊ぶ遊びです。ベトナムでは子どもたちがみんなこの遊びをするようです。実際に遊び方の見本を小学生に見せ、遊び方に教えました。4名の実習生ともとても上手で、小学生の皆さんが感嘆の声を上げ、拍手していました。

遊びの説明の前には、ベトナム語の挨拶を教えてもらいました。たくさんの子どもたちと交流し、体を使って教えたので、とても疲れたそうですが、終わった時の笑顔がとても素敵でした。これからも地域とこういった交流をしていきたいと思います。

これからダーカウのルールをはなします



自作の説明用のポスター前でポーズをとる皆さん



遊び方を日本語で説明するニヤットさん



ダーカウを実演するフィーさん



今月の実習生

～ ディマスさん、普通運転免許取得！～

祝合格



運転免許証を手に笑顔のディマスさん

先月号でご紹介した運転免許取得コースを受講していた当校卒業生のインドネシア人実習生のディマスさんが、自動車教習所の合宿免許講習を無事卒業しました。栃木県の運転免許センターでの学科試験に見事合格して、普通自動車運転免許証を取得しました。

ディマスさん、合格おめでとうございます。今回の免許取得コースで学んだ交通法規や交通マナーをしっかりと守り、くれぐれも安全運転を心掛けてくださいね。

こんにちは。私はディマスです。私は1年前に日本にきました。そしてきぼうで日本のルールや文化を初めて習いました。

最初はたしかにたいへんでしたが、今はようやく日本人のともだちもいてたのしいです。今回はきぼうで車の免許の勉強をしました。先生方はみんな親切で楽しく、また忍耐強くサポートしてくれました。先生方がいなければ合格できませんでした。本当にありがとうございました！

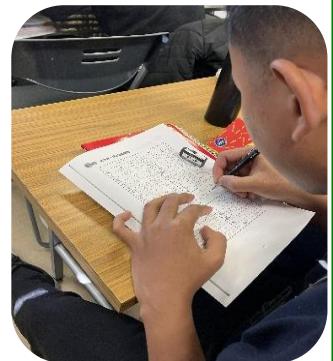
あじけん流日本語授業

～命令形、禁止形の学習～

今月のあじけん流日本語授業は、命令形、禁止形を学習する授業をご紹介します。命令形とは、動詞を命令の形にしたもので、例えば、「行く」なら「行け」となります。一方、禁止形は、「触る」を「触るな」と変換したもので、これらの動詞の形は、実習をするうえで、身の安全を守るために非常に大切な言葉です。この授業は、それらを教科書の学習として「わかる」ではなく、「できる」までしっかりと体得してもらうための授業です。

まず、プリントで、動詞の形を確認します。母国では学習していない実習生も多いので、しっかりと確認します。その後、実習の業種別に分かれ、その業務上でどんな作業をしているとき危ないか、どんな時にこれらの命令形、禁止形が使われるかを考え、寸劇として発表をしてもらいました。

まず、工場で働く実習生です。ライン作業の中で、スマホを持ち込み、仕事をしないで、スマホを見ています。それを見つけた先輩が注意しました（写真①）。



次に、機械オペレーターの実習生です。たくさんあるボタンのなかで、よくわからないけど、押そうとしてしまった実習生が注意を受ける場面を発表してくれました（写真②）。

とびの実習生は、窓に登るまねもしてくれました（写真③、④）。これには、クラスも大笑いでした。

その他、農業の実習生、介護の実習生、建設の実習生など、それぞれの現場をイメージしながら発表をしました。楽しんで、しっかりと演技しているクラスメートに、みなさん拍手を送っていました。

当校の教育目標の1つに「命を守ることができる実習生」とあります。実習先では危険な現場もあると想像しています。そこで、自分の命を守ることはもちろんのこと、そこにいる同僚や先輩の命も守れることは同じ働く仲間として大切です。そのため必要な日本語をしっかりと身に付け、安心安全に実習を行ってほしいとスタッフ全員が心から願っています。これからも実習生の現場を考え、実習生を思いながら日本語指導に励みたいと思います。



写真1：携帯を見ている後輩を注意しています

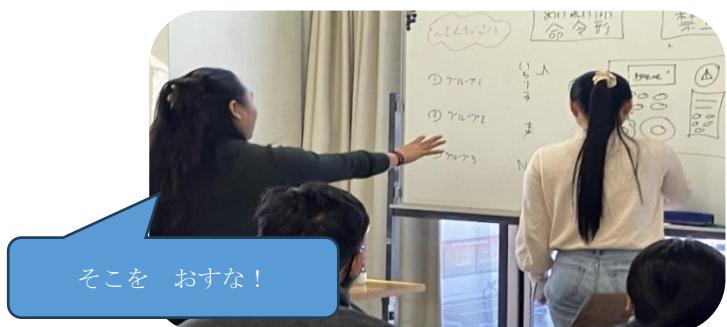


写真2：間違ったボタンを押さないよう注意しています

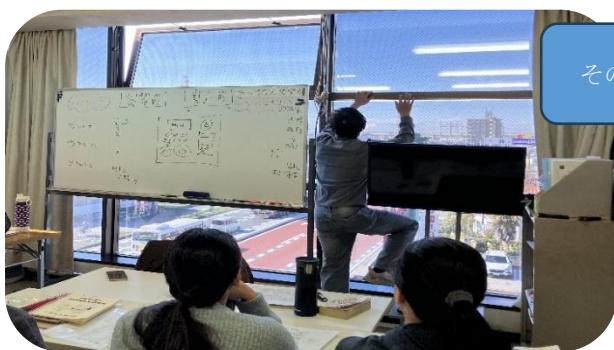


写真3：とびの実習生の迫真的演技です！

そのまま のぼるな！あんぜんたいをつけろ！

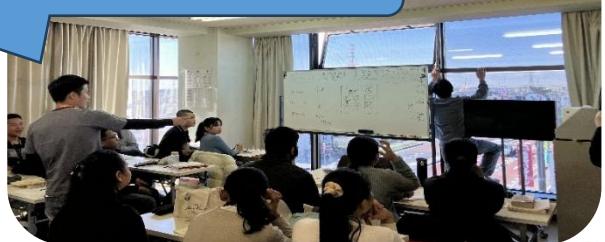


写真4：作業の内容もよくわかっているようでした